

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	泉南市子ども総合支援センター（保育所等訪問支援事業）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理師・発達相談員・看護師・相談支援専門員等の多職種で考え合い支援を行うことで、多面的な視点でのアセスメント・評価や支援を提供することができる。	・訪問先施設の行事や状況・窓口担当職員との連絡方法を共有し迅速な対応ができるよう、スムーズな連絡調整ができるよう工夫しています。	・研修等でそれぞれの専門性のスキルアップを行いながら、今後も各専門職のアセスメントを参考によりよい療育に繋げていきます。
2	・児童発達支援センターであるため、地域の未就学施設や小・中学校との情報共有や連携が取りやすいことです。	・訪問先施設での様子や、担当の先生方の意向等と保護者の方のニーズを確認しながら、必要な支援の提供を行っています。	・今後も、地域の未就学施設や小・中学校との情報共有を密に行い、またセンター内での多職種連携も行いながら支援を提供します。
3	・集団生活を過ごしやすいように、子どもの発達段階や特性に合わせた支援や活動を提供できるよう努めています。	・訪問先施設での様子や、担当の先生方の意向等と保護者の方のニーズを確認しながら、必要な支援の提供を行っています。	・研修等で担当職員のスキルアップを図りながら引き続き子どもの特性に応じた具体的な支援方法が提供できるよう、努めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・センターとして様々な相談事業を行っているため未就学施設や小・中学校に訪問することが多いので、訪問先施設の方に、保育所等訪問支援と他事業との違いが伝わりにくい事がある。	・保育所等訪問支援同様、他事業でも訪問して相談援助を行っているため。	・各事業、パンフレットを用いて事業説明をより丁寧に行い、各事業・担当者の役割の明確化を行います。
2	・保護者の方のライフスタイルに合わせた連絡調整が難しい事がある。	・センターとしての保護者の方との連絡調整手段が、主に電話連絡であるため。	・保護者の方の連絡可能な時間帯を事前に確認する。またICTシステム（コドモン）の活用を充実できるようにしていきます。
3	・保護者の方への情報伝達が不十分な事がある。	・災害や火災・不審者等の各訓練や感染症・事故防止等の各種マニュアルを閲覧できるよう設置したり、訓練実施の貼り紙を行っているが全保護者に伝わっていない。	・より分かりやすい掲示方法とICTシステム（コドモン）の活用を充実できるようにしていきます。